



今日の授業風景（小学部2年生）

4月28日（火）の1時間目、2年生の授業を参観しました。



授業の前半はフランス語の会話です。3グループに分かれて行われたレッスンのうち、2Bの教室を覗いてみると、子供たちは自分の年齢を伝える表現を学んでいました。「J'ai sept ans. (私は7歳です)」というフレーズ等を、先生の後に付いて元気に練習していました。



興味深かったのは、ジェスチャーに関する先生のお話です。日本では「7」を示す際、左の手のひらに右手の指を2本乗せることがあります。フランスでは「手のひらが痛いのか?」と誤解されてしまうそうです。言葉だけでなく、文化によるジェスチャーの違いまで知ることができ、子供たちにとっても非常に貴重な学びとなっていました。

後半はクラス毎に分かれ、それぞれ

の活動に取り組みました。A組の国語は、教科書「ともだちはどこかな」の音読から授業が始まりました。「大事なことを落とさずに聞く」という目標に向け、集中して耳を傾ける練習を行っています。

一方、B組では間近に迫った「1年生との学校探検」に向けて計画を立てていました。音楽室や放送室、体育倉庫など、紹介する6か所の担当に分かれ、「そこがどんな場所で、使う時にどんなことに気を付けるべきか」を熱心に話し合っており、お兄さん・お姉さんとして1年生を案内しようとする頼もしい様子が伝わってきました。



身体測定と視力検査

新学期が始まり、JSBでは身体測定を実施中です。保健室前の廊下では「伸びたかな?」とワクワクする子どもたちの姿が見られます。実は10代前半（女子10~13歳、男子12~15歳頃）は、一生のうちで最も



も背が伸びる「成長スパート」と呼ばれる時期です。ぐんぐん成長する子どもたちが羨ましくも、その健やかな変化を一緒に喜ぶのは、私たち大人にとって幸せな時間ですね。

校外避難訓練・保護者引き取り訓練

まずは、4月29日(水)に実施いたしました「保護者引き取り訓練」へのご協力に心より感謝申し上げます。お忙しい中、皆様のおかげで迅速に訓練を終えることができました。

今回の訓練は「テロ発生による校外避難」を想定したものでした。緊急事態において児童生徒および教職員に求められるのは、冷静かつ速やかな行動です。また、避難場所や経路を再確認することも重要な目的の一つでした。振り返りますと、児童生徒一人一人が高い意識をもって取り組んでおり、非常に実りある訓練となりました。

避難後のジムナジウムでは、昨年度に引き続き大使館の警備対策官をお招きし、講評をいただきました。校長からは「学校は失敗から学ぶ場であるが、命を守る避難だけは絶対に失敗が許されない」という話をしました。また警備対策官からは、教職員へは「意識と準備の重要性」を、児童生徒へは避難の基本である「お・は・し・も(おさない・はしらない・しゃべらない・もどらない)」の徹底を改めてご指導いただきました。生徒たちの多くがこの合言葉を知っていたことは、日頃の意識の高さの表れだと嬉しく感じております。あわせて、不審な爆発物には決して近づかないという具体的な注意点も学びました。

訓練は非常に円滑に進みましたが、こうした備えが「訓練」のままであり続け、本番の事態が起こらないことを切に願っております。



休み時間の様子

ある日の休み時間の様子をご紹介します。

中休みや昼休みになると、多くの子どもたちがグラウンドや体育館に集まり、元気いっぱいに体を動かしています。遊びの内容は、大きく分けると「定番」と「ブーム」の2つです。

定番といえば、サッカーや鬼ごっこ、ブランコ。時には先生も加わって一緒に遊びますが、子どもたちの全力の鬼ごっこには「もう少し手加減して…!」と心の中で願ってしまうことも。

一方、ブームの遊びは時期によって様々です。3月の年度末頃には、小学部の中学年を中心にドッジボールが流行していましたが、このところはひと段落した様子。代わって最近は、小学部低学年の「すべりマット」

が人気です。高学年の女子児童と学年を超えて交流している姿は、とても微笑ましく感じます。

こうした何気ない日常の遊びが、子どもたちの健やかな体を作っていくのだと感じています。

